

小城市立 小中一貫校 芦刈観瀾校 学校便り 5月18日号

と も に



【文責】 校長：本村 正信 副校長：勝原 理

生徒総会が開催されました

5月11日（金）の5・6時間目に、中学部において生徒総会が開催されました。生徒総会は、中学生が全員参加の下、生徒会活動の予算・決算・行事等について話し合い、決定する場です。7年生にとっては、小学部で経験した代表委員会とは違う、全員が参加しての会議はどう感じたのでしょうか。自分たち一人一人が生徒会の一員であるという自覚が芽生えてくれれば良いなと思いました。

各委員会の活動方針や内容については、事前に各クラスで検討を行った結果でしょう。それぞれの学年らしい質問や意見等が出され、「さすが中学生」と見直す思いでした。回答する各委員会の代表も、簡潔で適切に答えることができていましたし、その場で回答が難しい質問については、「委員会で検討します」など真摯な答え方もできていました。

これから、承認された方針を基に生徒会活動がおこなわれていきます。各委員会に所属している生徒たちも、委員会に所属していない生徒たちも、様々な活動を通して、自らチャンスをつかみ、新しい活動にチャレンジし、その結果自分自身をチェンジしていくことを期待しています。



幼保小連絡協議会も行われました

中学部生徒の生徒総会が行われている頃、校長室では「芦刈こども園」の先生方との幼保小連絡協議会が行われました。この会議では入学して1ヶ月がたつ1年生の様子をこども園の先生方に伝えると共に、これからの連携行事について連絡・確認が行われました。こども園の先生方からは、「連携を持つことで、安心してっこどもたちを送り出すことができる」「これからも連携を深めていきたい」との言葉をいただきました。



4・5・6年生「肥前さが幕末維新博覧会」を参観する

5/8に中学部の生徒が「肥前さが幕末維新博覧会」に行ってきましたが、5/14は、小学部4・5・6年生が見学に行っていました。小学生たちは2つの会場を見学し、明治維新の頃の佐賀の偉人たちが何を考え、どう行動していたのか学んできました。

その紹介の前に、前号でも最後に少し書いていました中学部の生徒たちの感想を少し紹介いたします。話を聞いたのは、職員室前の総合センターで打ち合わせをしていた応援団団長たちです。

Q：博覧会を見学してびっくりしたことや感心したことはどんなことですか？

A1：あの（大きな）大砲を手作りしていたことに驚いた。

A2：教科書には載っていない佐賀のすごい人を知ることができた。海外に住んだら佐賀のすごさを広めたい。

A3：映像を使っただけの表現のおかげで、内容がよくわかった。

A4：直正以外のすごい人たち〔七賢人〕についても知ることができてよかった。

A5：映像がすごかった。アンドロイドにもびっくりした。

A6：小学生には少し難しいかも。でも映像があるから大丈夫だろう。

さて、小学生たちは、どんな感想を持つのでしょうか。

小学生たちがまず到着したのは、市村記念体育館を会場とする「幕末維新記念館」です。ここでは係の方の誘導を受けながら約40分間の見学となりました。中学生のいったとおり迫力のある映像を駆使して鍋島直正の業績や考え、「七賢人」と呼ばれている偉人たちの考えや業績が説明されています。子どもたちは、映像や音声による説明に集中していました。また、この会場の最後に、木の葉型の用紙に感想を書く場所がありました。熱心に自分の感想を書いたり、すでに書かれているいろいろな方々の内容を熱心に読んでいる姿が印象に残りました。

その後、徒歩で佐賀城本丸歴史館に移動し、館内を見学しました。歴史館に初めて来た児童も多く、広い畳の間に驚いたり、中にある説明文を熱心にメモしたりしている子どもたちも多くいました。

さて、子どもたち（6年生）の感想です。

- ・記念館で大きな扉が突然開いて次の部屋に進んだり一人芝居で説明をしたりするのがすごかった。
- ・佐賀が日本の中心だったとは知らなかった。
- ・葉っぱに「佐賀最強」と書いた。
- ・歴史館で持った銃が重かった。などなど

